

外国人と日本人とが、ともに豊かに生きる地域社会を！

ハロー フレンズ



ふじみの国際交流センター
Fujimino International Cultural Exchange Center

2019年 1月号 (年3回発行) 第149号

あけましておめでとうございます

平年にもまして厳かな気持ちで平成最後の新年を迎えております。
皆様には、いつもふじみの国際交流センターに多大なるご理解・ご支援をありがとうございます。
改めて感謝申し上げます。

ハローフレンズの秋号で215万円の赤字に悲鳴を上げていると掲載して以来、スタッフ一同、事業を継続するためにどうしたらよいか試行錯誤の毎日です。収入の見込めないシェルター委託事業は、断腸の思いではあるが止めざるを得ないのではないかと。スタッフのスキルを活かした翻訳事業をPRしてみよう。行政に補助金申請をしてみよう。市民の皆さんに呼びかけてサポーターを募ってみよう。儉約と節約を合言葉に、エネルギーの半分は外国人支援に、残りの半分は経済を支えるために消費する毎日でした。

会計期間の変更で30年9月末の半年決算では、13万円ではありますがなんとか黒字で1会計年度を送ることができました。

今年4月には出入国在留管理庁が発足し、新入管法に基づき外国人労働者として34万人の労働者が入国してきます。加えて、ふじみの国際交流センターの隣に民間の日本語学校が開校することになり、今まで以上に慌ただしくなることは確実です。昨年の6月から始まった認定NPOとしての埼玉県の検査に合格し、おかげさまで埼玉県指定・認定非営利活動法人として再認証され、引き続き、当センターへの寄付金に対し所得税法の税制控除を受けることが認められました。法律に則って在留外国人の自立支援と、豊かな多文化共生社会の実現に向けて努力していく所存です。

今年も変わらないご理解と、ますますのご支援をどうぞよろしくお願い致します。(石井ナナエ)



《同行通訳》中間報告

〈同行通訳体験〉

同行通訳の分野は、医療、司法、行政、教育、税務など多岐に分かれるが、特に医療関係の要請が多い。私が担当した分野は今のところすべて医療の通訳で、事前の医科部門の医療用語の確認が必要になる。

医療の通訳は長期にわたり担当することが多い。これは当事者である日本語が不自由な外国人との信頼関係を築くことになるので大事な点となる。

又、依頼主である行政の担当者との連絡もより頻繁に行われようになるが、これは当事者の健康に関わることなので連絡、報告等を欠かさず行うように

三宅 万里子

心掛けている。

各病院に用意されている入院、手術、医療手続きに関わる書類の大半が日本語のみなので、それを翻訳し、分かり易く説明した後、ご本人の承諾書記入を知らせる等々説明する書類が山ほどあり、時間を要することが多い。そして最後には双方がホットして落ち着くのがいつものパターンだ。

通訳はどの分野でも当事者の生活、人生にかかわってくるものなので、誠意をもって接することを私はいつも心がけている。

〈これからどうなる？ 同行通訳事業〉

子どもの学校との関わりや病院、行政機関などの場面では、情報が正確に伝わらないと大変なことになる。今年、宝くじ組合からの1年限りの助成金を通訳料に充てて、ともかくも事業をスタートさせたのは、外国人が増えていく中で、言葉の壁へのサポートは待ったなしの課題だと思うからである。

その結果、70の方が通訳者登録して下さった。一方、需要の多い東南アジアやアフリカなどの言語は通訳者が少なく、派遣要請を断念せざるを得ないケースもあった。11月末日現在の派遣実績は139回。この事業の周知度を考えると、通訳を必要としてい

佐竹 裕子

る多くの外国人が潜在していると思われる。

専門用語が多い医療機関での難しい通訳や通訳者泣かせの連絡なしのキャンセルなど、様々な課題に取り組んでいこうとする中、宝くじ組合からの助成期限は残すところあと1カ月余りとなった。

今回の一歩が後に続く一歩となるかどうか。それは、同行通訳の必要性とその費用負担のあり方を、社会的課題として示していけるかどうかである。そこに至るまでの間、財源を我がFICECで果たして確保できるだろうか。

難問への挑戦がまた始まった。

月別通訳実施件数

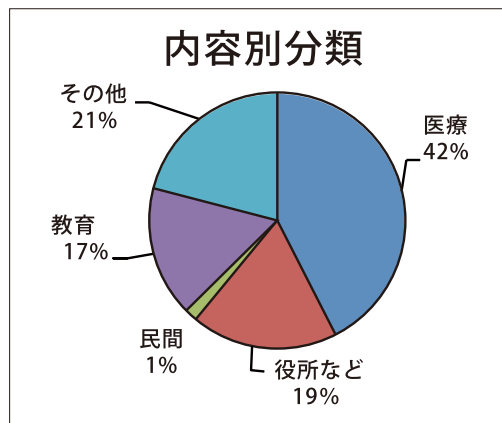
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
2	19	14	15	13	25	24	27	139

内容別通訳実施件数

医療	役所など	民間	教育	その他	合計
59	26	2	23	29	139

同行通訳は、計画していた当初の予想より依頼件数が大幅に多く、このままだと予算上、来年3月より前に同行通訳が実施できなくなる。

この表が示すように、全体件数139件の内80%を医療、行政、教育が占めているということは、日本語が通じない外国人にとって、これらがもっとも大変なのかが分かる。これから来る依頼に対して、特に命に係わる医療通訳の依頼に「予算上出来なくなりました」と伝えるのは非常に心苦しい事である。



FICECの語学教室紹介

ジャン

江さんの楽しい初心者向け 中国語教室

◎レッスン内容

中国語の基本的な発音練習を行い、簡単な日常会話を中心に、中国の文化に触れながら中国語を楽しく勉強しましょう

◎先生の紹介

日本の大学を卒業後、10年間日本企業で働き、現在はセンターで翻訳・通訳、小中学校での、中国人児童・生徒の取り出し授業などに携わっています。来日して25年になります。ゆっくり丁寧に教えます。

◎時間

金曜日 午後14:00～15:00

(1回 1,000円)

(1/11、1/18、2/1、2/8、2/15、2/22、
3/1、3/8、3/15)



授業風景

◎場所

ふじみの国際交流センター 2階

◎お問い合わせ

ふじみの国際交流センター

049-256-4290

担当:木村、石井、山崎

エレナ

Elenaさんの楽しい初心者向け 英語教室

◎レッスン内容

ABCや基本的な発音から学びながら、英会話に慣れていきましょう。わからないところは日本語で丁寧に説明します。

◎先生の紹介

日本に長く住んでいるロシア人女性です。

◎先生から一言

皆で楽しく英会話を習うのはいかがですか？日本で英語教師歴は今年で15年になります。TOEIC、TOEFL 両方高得点を取り、English Teachers in Japan を受講して、基礎文法から会話まで教えます。ぜひ参加してみてください。

ALL English のポリシーではないので
お気軽にどうぞ。



授業風景

◎時間

毎週月曜日 午前11:00～12:00

(1回 1,000円)

◎場所

ふじみの国際交流センター

◎お問い合わせ

ふじみの国際交流センター

049-256-4290

担当:木村、石井、山崎



スタッフ紹介

「置かれた場所で咲きなさい」

狩野 照乃



私の名前は「かのうてるの」です。「かりの」でも「かの」でもありません。スタッフとして働かせてもらっています。去年は月曜日の午後、今年は火曜日の午後、当番として入っています。私以外の皆さんは素晴らしい経歴や資格をお持ちの方ばかりで、何もとりえのない私が、果たしてFICECにいて良いのだろうかといつも疑問に思っています。

私が上福岡市に来たのは19年前です。その頃は二十代半ばで、色々な可能性を求めて働いていました。病気の関係で毎月1週間の連休を取らなければいけない為、正社員にはなれず、様々なアルバイトを経験

しました。三十代になって体を壊し、「私なんか生きていてもしょうがない、誰も必要としていないし、社会のお荷物でしかないのだ。」そんな絶望の淵を彷徨った数年間。今は絶望を希望に変えて生きています。

2012年に出版された渡辺和子著の『置かれた場所で咲きなさい』というタイトルは、著者が三十代半ばで思いがけず大学学長に任命されて心乱れることも多かった時に、一人の宣教師が手渡してくれた英詩から得た言葉で、「置かれたところこそが、今のあなたの居場所なのです」と告げるものでしたと記してあります。

たとえどんな境遇に置かれてもそれを受け入れて生きて行く、この言葉を胸に抱いてこれからも歩んで行きたいと思います。



「国旗の☆はルソン、ビサヤ、ミンダナオ」

秋本ノエミ

フィリピンの国旗は3つの星があります。3つの星は島を示しています。ルソン、ビサヤ、ミンダナオ。フィリピンの首都マニラはルソン島にあります。マニラには16のシティがあります。その中ではマカティが経済の中心で高層ビルとショッピングモールがあります。

ビサヤのボホール島の自慢は世界最小の眼鏡ザル、ターシャで体長は約10センチ、丸く大きな目と体長の約2倍の尻尾が特徴です。手の平にのせる事も出来ます。チョコレート・ヒルもおすすめです。円錐型の丘一群その数約1268個です。緑色の丘は乾期になると茶色に変わり、チョコレートみたいだからチョコレート・ヒルと呼ばれています。

国旗の3番目の星はミンダナオ島です。最大の都市ダバオではフィリピン・イーグルセンターとダバオクロコダイル・パークで地元の野生生物を紹介しています。ドリアンは特有の異臭の果物、一度食べたら忘れない味です。産地はミンダナオ島です。

フィリピンで人気の乗り物はジープニーです。もともとは第二次世界大戦で残された米軍ジープです。昔は毎日学校に通うときジープニーに乗りました。私たちの生活に欠かせないものです。車体はカラフ

ルな色に塗装され、カーアクセサリが取り付けられています。ジープニーに乗るといつも音楽がかかっています。それが好きです。

フィリピンの美味しい食べ物はレチョン「子豚の丸焼き」、ルンピア「生春巻」、人気のスープはシニガンという野菜と車エビをベースに煮込み、サンパロクの実で味付けた酸味のあるものです。代表的なデザートはハロハロ。中にナタデココや数種類のゼリー、かき氷、練乳、フルーツ、アイスクリームなどを混ぜて食べます。南国のフィリピンでは年間を通して、マンゴー、マンゴスチン、パイナップル、ランブタン、スターアップル、ドリアンなど、まだ日本に入っていない果物が沢山食べられます。



〈マンスリーサポート制度についてのお願い〉

石井ナナエ

生活相談や日本語の学習など、外国にルーツを持つ人たちが今日も大勢センターを訪れています。ふじみの国際交流センターは皆様からのご寄付と委託事業収入とで運営しています。

埼玉県の人口の45人に1人が外国人となった現在、ふじみの国際交流センター利用者も年間5,000人を超え、ますますその重要性を感じています。外国人と地域のトラブルを防ぐために、また組織の基盤を強化するために、今年4月から新サポート制度「FICECマンスリーサポーター制度」をスタートせざるを得なくなりました。

マンスリーサポート制度とは、ふじみの国際交流センターの取り組み全般を理解し、「FICECを応援し続けよう」と心に決めて下さった方や、FICECと共に「社会をよくしていこう」「課題を解決していこう」「FICECの仲間なのだ」と感じてくださった方に、「毎月1000円」「毎月2000円」など定期的に継続的にご支援いただく寄付制度です。

クレジットカードや銀行・郵便局の口座から自動引き落とし方式で毎月寄付して下さる支援者を「マンスリーサポーター」といいます。

厚かましいお願いで恐縮ですが、皆様のご協力をどうぞよろしくお願い致します。

☆ふじみの国際交流センターに支援をしていただきたい理由

①日本語の読み書きが十分にできない外国ルーツの子どもが高校に入学するための大切な学びの場とし

て、ふじみの国際交流センターの継続が重要になっている。

②経済的・社会的・精神的な自立に困難を抱えている外国人母子を保護し、傾きかけた生活基盤を整えるための支援がますます必要となる。

③活動資金の要だったDVの被害者を保護するシェルターの入居者が2年間ゼロだった。これからの入居も見込めないため、経済的に大ピンチに陥っている

④生活相談の内容が難しくなり、活動に携わるスタッフに専門性が求められるようになった。

⑤外国人支援に対する補助金や助成金がない。

⑥政府は34万人の外国人労働者と4,000万人の観光客を受け入れようと「出入国在留管理庁」という組織を4月に発足させる。

⑦外食・宿泊・介護・農業・建設など特定技能として14業種以上の在留資格が増設され、今までにもまして複雑な問題に対応できるふじみの国際交流センターの役割が必要となる。

なお、認定NPOであるふじみの国際交流センターへの寄付金は、所得税・法人税の優遇措置が適用され、税金が減額できます。確定申告に必要な領収証明書は、毎年1回1月下旬までに郵送させていただきます。領収証明書のご名義はご登録名で発行いたします。別の名前をご希望の方はご連絡下さい。

次回に詳しくお知らせいたします。考えてみてください。どうぞよろしくお願い致します。

FICECマンスリーサポーターに申し込みます

1. ご登録情報

お名前 ご住所 電話番号 メールアドレス

2. ご寄付の金額

毎月1,000円 毎月2,000円 毎月3,000円 毎月 円

3. ご寄付の送金方法

クレジットカード 金融機関 ゆうちょ銀行

医療者のための「やさしい日本語」ワークショップ参加報告

安 銀柱

2018年12月1日、三芳町藤久保公民館にて、医療者のための「やさしい日本語」のワークショップが開かれ、FICECからは私を含むスタッフ3名と日本語教室で日本語を勉強している外国の方3名、そして子どもクラブを卒業し大学院で薬剤師を目指している周さんが参加した。

順天堂大学医学部の武田裕子先生が主催され、「街のひろば」と当センターが共同協力の形で開催された今回のワークショップでは、増え続けている外国人患者と医療者がどう上手くコミュニケーションをとっていかについて話し合いが行われた。FICECと「街のひろば」の参加者は約25名。それ以外に順天堂大学の医師、看護師、職員、大学院生、共同通信、NHK、東京新聞などのマスコミの方たち20名、そして東入間地区の安藤医院、日鼻医院、石川医院の医師、上福岡総合病院、埼玉セントラル病院、イムス富士見総合病院、医療生協埼玉などの看護師など合わせて、合計

70名以上が参加し、3時間半にわたり行われた。

医療関係者と、日本語が自由に話せない外国人が一緒になって、円滑に意思疎通するための「やさしい日本語」の必要性を相互に確認し合うとともに、その実践の難しさについて、とくに医療関係者側に知ってもらうことを最大の狙いとしたワークショップであった。外国の病院へ行ったことがある人は、言葉の通じないなかでの診察がどんなに不安なものなのか、よく分かるはずだ。現在、日本で生活している外国人は病院へ行く度に同じ不安を抱えている。そして、外国人だけでなく日本の病院の医療関係者も、言葉の通じない外国人を診察する事に不安とともに、大きな負担を抱えている。しかし、日本人が易しく話す日本語が、外国人にとってかならずしも「わかりやすい日本語」とは限らない。本当の意味での「やさしい日本語」こそが双方が抱える不安と負担を軽減してくれる大事なキーワードとなるに違いない。

見送りの3振より空振りの3振 パートⅡ

石井ナナエ

○月○日

宝くじの助成を受けて始めた無料同行通訳事業も年の中盤にさしかかり、もっと広く活用していただけるように、担当スタッフと近隣の6つの大規模病院にPRに出かけた。それぞれの病院のソーシャルワーカーの方にお会いして事業内容を説明した。大半の病院が「日本語のわからない外国の方は受診を断っている」とか「日本語がわかる人を連れてくる事が条件」になっていた。また「お金がない」とか「診療費未払いのまま黙って退院してしまう外国人が多い」という苦情も聞かされた。

同行通訳では多言語情報誌を活用して、支払いの義務や日本の医療制度・保険制度などを詳しく説明する約束をし、「助成金の残りのある1月までだが、制度をぜひ活用して欲しい」と伝えてきた。そして1月以降は病院自体が通訳制度を設置して欲しい旨も懇願してきた。

フランス語の通訳をして下さっているLさんから「この制度が永続できるといい。FICECの力でなんとかして下さい」と頼まれたばかり。病院側の理解を切望する。

○月○日

フィリピン人スタッフと共に、一食運動の浄財33万2千円をいただきに立正佼成会の川越教会に伺った。会員の皆さんが毎月1日と15日に食事を抜いて、そのお金を集め、国内外の支援活動に役立てるように献金するという活動で50年以上続いているらしい。FICECの活動を理解して下さり、昨年に続き今年も寄付していただけることになった。教会に集まった100人以上の方達から「頑張ってくださいね。応援しています」と温かい声をかけていただいた。「これからは頑張ります」と心の底から答えた。

○月○日

カーン、カーン。金属が響き合う音がする。廃墟になっていた事務所の向かいの建物が日本語学校に生まれ変わろうとしている。来年4月には入管局が入管庁に昇格し、34万人の労働者と4000万人の観光客を呼び入れる準備が、国を挙げて進んでいる。これからますます外国人問題は深刻化するだろう。

市の特定健康診査に出かけた。総合判定はbで「軽度異常が認められます。生活習慣の改善に努めましょう」とのこと。サプリメントが増えそう。

ご寄付いただきました

一食(いちじき)運動の皆様から、たくさんのご寄付をいただきました。ありがとうございました。この寄付金は、今年の多言語情報誌「インフォメーションふじみの」の作成費に充てさせていただきます。



総会が行われました



2018年11月18日、ふじみの国際交流センターにて総会がありました。事業報告、事業計画並びに決算、予算について承認されました。

FICECの料理教室

10月は、韓国料理教室で、チーズタッカルビ、チジミ、スープ、ヤッシク(韓国式おはぎ)を作りました。12月はロシア料理教室で、ボルシチ、ペリメニ、プリニャー(クレープ)を作りました。2019年は2月にアフタヌーンティーを予定しています。皆さんの参加をお待ちしております。



広告

劉記小籠包

りゅうきしょうろんぼう

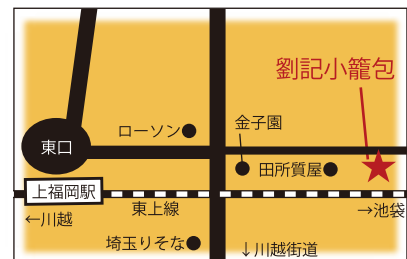
◆メニュー

焼餃子・水餃子、小籠包、麻婆豆腐、青椒肉絲、炒飯、回鍋肉、野菜と肉の炒め物、その他ご飯、卵、スープ、漬物も有ります。



◆営業時間/11:00~15:00、17:00~22:00 (年中無休)

◆住所/埼玉県ふじみ野市上福岡3-2-12



●お店の広告を出しませんか? 詳しくはFICECまでお問い合わせ下さい。

FICECの活動をご支援ください
会員・賛助会員・寄付のご案内

●活動を担う会員…正会員

正会員は、スタッフなどとして活動を担っていただく会員です。この会員は、総会などでの議決権をもちます。

年会費：個人1口3,000円、団体1口10,000円

●FICECを財政的に支える会員…賛助会員

賛助会員は、FICECを財政的に支えていただく会員です。総会等での議決権はありませんが、FICECのイベントなどのご案内や、機関誌をお送りいたします。

年会費：個人1口3,000円、団体1口10,000円

会員、賛助会員にはこの機関紙をお送りします

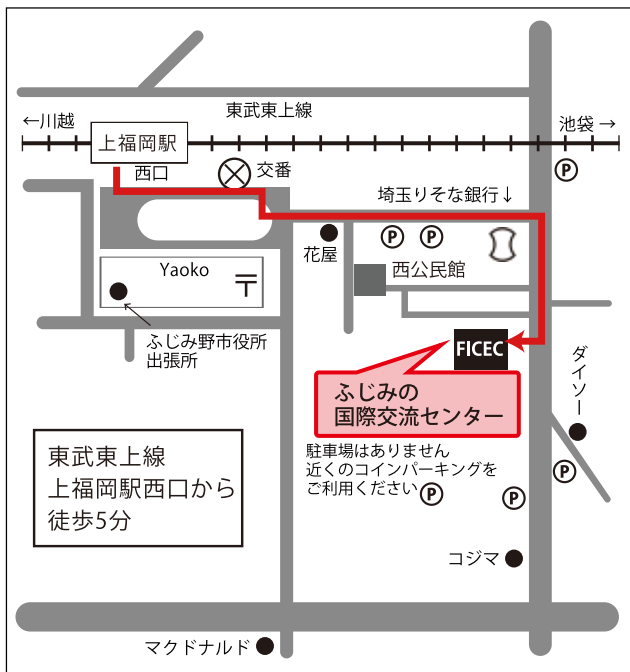
郵便振替口座：00110-0-369511
 口座名：ふじみの国際交流センター

外国人生活相談 無料

月曜日～金曜日 10:00～16:00
 電話：049-269-6450

困っている外国人の方がおられたら
 FICECをご紹介ください。

※コピー代など料金がかかる場合があります



埼玉県指定・認定特定非営利活動法人
ふじみの国際交流センター

〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡5-4-25
 TEL: 049-256-4290 FAX: 049-256-4291
 生活相談専用電話 049-269-6450

ご寄付をいただいた方々
 ご支援ありがとうございます

●2018年4月1日～2018年12月10日(敬称略)

〈団体〉一食推進委員会、邱亜蘭、社会貢献支援財団、立麻医院、東入間地区遊技業防犯協力会、田村工務店

〈個人〉秋本ノエミ、穴沢エミリン、新井順子、新井洋子、新井良司、荒田光男、安銀柱、石井ナナエ、伊藤愛、伊藤真弓、岩田愛子、岩田仁、上島直美、遠藤慧子、尾浦邦彦、大澤エミリ、大室昭浩、小熊千寿子、尾崎功、片倉ミン、加藤久美子、加藤由里子、金沢国勝、狩野照乃、川口久子、神田順子、木村不二雄、樟山直美、熊谷洋興、木場ひろみ、小林暁美、小林久美、駒形一夫、権田貴久子、酒井有香、佐竹裕子、佐藤裕悦、佐藤義治、江科、島田道子、高木志津子、高橋真梨子、高橋睦代、武田和子、立原悟、田中つや子、近澤エルザ、坪田幹男、鄭玄淑、寺村璧如、戸塚成子、富田恵子、内藤忍、中嶋恵津子、仲野谷美恵、中村禎作、長澤和夫、榎府憲太、南部英司、西川力藏、沼田伊久俊、野沢弘子、長谷川雅恵、長谷川正江、林田信幸、半田栄子、福吉真邦、星野秋梅、松下敏恵、三宅万里子、水井ロウビミン、村山光代、茂木久美子、森下理恵子、森田有美子、八重樫紀久枝、矢澤美紀、柳ザヒ、山口勇、山口満江、山崎友理、山畑博子、吉井ジュリエッタ、レスティツ、劉海燕

※埼玉県指定・認定NPO法人ふじみの国際交流センターに寄付をしてくださった方は、税金の優遇を受けることができます。

ふじみの国際交流センターサービス案内		
外国人 ゲスト派遣	国際理解教育	3,000円+交通費+事務費
	外国料理教室	5,000円(材料費別途)
講師派遣	多文化共生講座	20,000円+交通費
	ボランティア講座	(活動運営のためご協力ください)
企画・運営	国際交流・国際理解に関するイベントや研修の企画・運営等	内容・予算に応じて相談
編集・出版	多言語による情報誌・ガイドブック・チラシなどの制作	
翻訳	婚姻関係、ビザ申請、履歴書	A4 2,000円/ページ
	その他文書	A4 3,000円/ページ
通訳	半日5,000円+交通費	
見学・研修(資料代として)		1,000円/人、日

ボランティア活動に、ご参加ください

ふじみの国際交流センターでは、日本語指導をはじめ、生活相談・外国籍市民との交流・手助けをするボランティアを募っています。ぜひ、電話またはホームページから、お気軽にご連絡ください。